

南山大学大学院
入学試験
出題の意図および解答例

国際地域文化研究科

2026年度・春季

NANZAN
UNIVERSITY

目 次

《博士前期課程》

外国語（英語）	1
（日本語）	2
専門に関する基礎知識（スペイン・ラテンアメリカ研究領域）	3
（アジア・日本研究領域）	5

<出題の意図>

長文読解 I

英語で書かれた学術的論考や専門的情報の文脈を正確に把握し、その内容を英語あるいは日本語で正確に説明することができるかによって、大学院において研究を遂行する能力を有しているか否かを評価する。

翻訳問題 II・III

社会問題や国際情勢に関する短い文章を読み解き、その内容を日本語訳および英訳することで、大学院における研究活動に必要な言語能力を有しているか否かを評価する。

<解答例・評価のポイント>

長文読解 I

この設問の採点に関する評価のポイントは次のとおりである。なお、受験者に説明させる問題であるため、解答例の提示はしない。

- (1) 言葉の意味や文脈を正確に理解した、論理的な解答であるか。
- (2) 言葉の意味や文脈を正確に理解した、論理的な解答であるか。
- (3) 言葉の意味や文脈を正確に理解した、論理的な解答であるか。
- (4) 言葉の意味や文脈を正確に理解した、論理的な解答であるか。
- (5) 言葉の意味や文脈を正確に理解した、論理的な解答であるか。
- (6) 言葉の意味や文脈を正確に理解した、論理的な解答であるか。
- (7) 言葉の意味や文脈を正確に理解した、論理的な解答であるか。

翻訳問題 II

この設問の採点に関する評価のポイントは次のとおりである。なお、受験者に説明させる問題であるため、解答例の提示はしない。

- (1) 専門的な用語を理解した、適切な邦訳であるか。
- (2) 専門的な用語を理解した、適切な邦訳であるか。
- (2) 専門的な用語を理解した、適切な邦訳であるか。

翻訳問題 III

この設問の採点に関する評価のポイントは次のとおりである。なお、受験者に説明させる問題であるため、解答例の提示はしない。

- (1) 専門的な用語を理解した、適切な英訳であるか。
- (2) 専門的な用語を理解した、適切な英訳であるか。
- (3) 専門的な用語を理解した、適切な英訳であるか。

(以上)

<出題の意図>

大学院で要求される高度な日本語運用能力を持っているかを見るために、芥川龍之介の『羅生門』を題材として、日本語の文章の読解力、またその読解結果を日本語で表現できるかを問う設問を出題した。さらに、800字以下のエッセーを課し、日本語力をみた。

<解答例・評価のポイント>

- 一
- 問1 今後の暮らしをどうするかの見通しはまったく立っていない下人が、それでも暮らしをたてる手段がないか考えずにはいられないということ。
- 問2 ウ
- 問3 イ
- 問4 手段を選ばず生活の手段を得るとすれば犯罪行為を行うしかないということはわかっているが、いつまでたってもその決心はつかないということ。
- 問5 ア
- 問6 う ア 恐怖 え ウ 憎悪
- 問7 エ
- 問8 下人は、老婆を殺そうと思えば殺せるし、生かしてやろうと思えば生かすことができるということ。
- 問9 生きていくためなら倫理に反することをしてしまってもやむをえないという老婆の主張が成り立つなら、自分が生きていくために、老婆に対して同様の行為をしてもよいはずで、それを老婆は咎めることはできないはずだということ。

- 二 題名のみを与えて、800字以内のエッセーを自由に書かせる問題なので、解答例は示さない。
評価のポイントは以下の通りである。
- ・達意の日本語で書かれているか。
 - ・日本語の表現に誤りはないか。
 - ・文章の構成、表現などの巧拙。

<出題の意図>

- ・本専攻、本研究領域で学ぶ前提となる専門知識の有無を確認する。

<解答例・評価のポイント>

設問Ⅰ. 評価のポイント

この設問の採点に関する評価のポイントは次のとおりである。なお、受験者に説明させる問題であるため、解答例の提示はしない。

- (1) 「フランシスコ・フランコ」に関する正確な知識が示されているか。
専門用語を適切に用いた文章表現であるか。
- (2) 「スペイン継承戦争」に関する正確な知識が示されているか。
専門用語を適切に用いた文章表現であるか。
- (3) 「ホセ・マルティの唱えた「我らのアメリカ」(Nuestra América)の思想」に関する正確な知識が示されているか。
専門用語を適切に用いた文章表現であるか。
- (4) 『百年の孤独』(1967年)に関する正確な知識が示されているか。
専門用語を適切に用いた文章表現であるか。
- (5) 「米軍のベネズエラ侵攻(2026年1月)」に関する正確な知識が示されているか。
専門用語を適切に用いた文章表現であるか。
- (6) 「アルゼンチンのミレイ(Javier Gerardo Milei)政権」に関する正確な知識が示されているか。
専門用語を適切に用いた文章表現であるか。

設問Ⅱ. 評価のポイント

この設問の採点に関する評価のポイントは次のとおりである。なお、受験者に論述させる問題であるため、解答例の提示はしない。

- (1) 19世紀において、スペイン・ナショナリズムの広がりや緩慢であった諸要因に関して、正確な知識が示されているか。
 - ・上記の知識が、適切に整理され、論理的に述べられているか。
 - ・専門用語を適切に用いた文章表現であるか。
- (2) ハプスブルク朝スペイン王国の統治形態に関する正確な知識が示されているか。
 - ・上記の知識が、適切に整理され、論理的に述べられているか。
 - ・専門用語を適切に用いた文章表現であるか。
- (3) ラテンアメリカ地域と東アジア地域との協力・連帯関係に関して、正確な知識が示されているか。
 - ・上記の知識が、適切に整理され、論理的に述べられているか。
 - ・専門用語を適切に用いた文章表現であるか。

2026年度南山大学大学院 国際地域文化研究科 国際地域文化専攻 (2026年4月入学)

2026年度南山大学大学院 国際地域文化研究科 国際地域文化専攻 (2026年9月入学)

<博士前期課程>一般入学試験

(2026年2月21日実施)

試験科目：専門に関する基礎知識

配点：100点

(スペイン・ラテンアメリカ研究領域)

(4)・スペイン南部発祥の伝統芸能、フラメンコとその特徴に関する正確な知識が示されているか。

・上記の知識が、適切に整理され、論理的に述べられているか。

・専門用語を適切に用いた文章表現であるか。

(以上)

<出題の意図>

- ・本専攻、本研究領域で学ぶ前提となる専門知識の有無を確認する。

<解答例・評価のポイント>

設問Ⅰ．評価のポイント

この設問の採点に関する評価のポイントは次のとおりである。なお、受験者に説明させる問題であるため、解答例の提示はしない。

- (1) 「大日本帝国憲法」に関する正確な知識が示されているか。
専門用語を適切に用いた文章表現であるか。
- (2) 「周作人」に関する正確な知識が示されているか。
専門用語を適切に用いた文章表現であるか。
- (3) 「戦略的互惠関係」に関する正確な知識が示されているか。
専門用語を適切に用いた文章表現であるか。
- (4) 「坂口安吾「墮落論」」に関する正確な知識が示されているか。
専門用語を適切に用いた文章表現であるか。
- (5) 「台湾関係法」に関する正確な知識が示されているか。
専門用語を適切に用いた文章表現であるか。
- (6) 「立憲政友会」に関する正確な知識が示されているか。
専門用語を適切に用いた文章表現であるか。
- (7) 「シベリア出兵」に関する正確な知識が示されているか。
専門用語を適切に用いた文章表現であるか。
- (8) 『墨子』に関する正確な知識が示されているか。
専門用語を適切に用いた文章表現であるか。

設問Ⅱ．評価のポイント

この設問の採点に関する評価のポイントは次のとおりである。なお、受験者に論述させる問題であるため、解答例の提示はしない。

- (1) ・中国の習近平指導部で推進された反腐敗運動の内容及び中国社会に与えた影響に関して、正確な知識が示されているか。
 - ・上記の知識が、適切に整理され、論理的に述べられているか。
 - ・専門用語を適切に用いた文章表現であるか。
- (2) ・日清戦争と日露戦争に関する正確な知識が示されているか。
 - ・上記の知識が、適切に整理され、論理的に述べられているか。
 - ・専門用語を適切に用いた文章表現であるか。
- (3) ・日本型雇用慣行の成立過程に関して、正確な知識が示されているか。

- ・上記の知識が、適切に整理され、論理的に述べられているか。
 - ・専門用語を適切に用いた文章表現であるか。
- (4)・近代日本文学における私小説の歴史とその特徴に関する正確な知識が示されているか。
- ・上記の知識が、適切に整理され、論理的に述べられているか。
 - ・専門用語を適切に用いた文章表現であるか。
- (5)・関羽信仰に関する正確な知識が示されているか。
- ・上記の知識が、適切に整理され、論理的に述べられているか。
 - ・専門用語を適切に用いた文章表現であるか。

(以上)

発行：南山大学 入学センター

名古屋市昭和区山里町 18 番地

Phone : (052)832-3119

E-mail : nyushi-ka@nanzan-u.ac.jp

U R L : <https://www.nanzan-u.ac.jp/>